

親子に聞く

不登校や引きこもりの子ども、家族の支援に取り組む社団法人「ひきこもり支援相談士認定協議会」(本部・北海道千歳市)。広島県呉市在住の同協議会広島支部の長尾美香代表に話を聞いた。

引きこもり支援

相談する勇気を出してほしい

——引きこもり支援に取り組むきっかけは。
長尾美香さん 長男が高校1年のとき、不登校となり自宅に引きこもるようになりました。当時の私は「学校に行きなさい」と頭ごなしに叱るこ

相談士認定協議会
ひきこもり支援相談士
広島支部
長尾美香さん



何とかしようと、私は勤めていた職場を辞め、不登校や引きこもりに関する本を読み、相談機関や精神科医に相談。解決の糸口を探りました。
自宅で長男との時間を共有する中で、毎日大学に通っていきま

——引きこもり支援で大切なことは。
長尾 子どもはもちろん、家族にとっても心から安心を与えてくれる人の存在が何よりも大切と言えます。

引きこもりへの対応は、早ければ早いほど、状態が改善される可能性は高い。「周りに知られたくない」「恥ずかしい」と思わずに、まずは相談する勇気を出していただきたいと思えます。一歩前に進むことで、必ず変化を生むことができます。

同じ悩みを持つ人たちの力になりたいと支援に取り組んでいます。
——協議会の取り組みは。
長尾 2009年に設立された協議会は、独自に「ひきこもり支援相談士」と「不登校訪問専門

11年10月に発足した広島支部では、毎月1回、家族が集える場を提供しています。子どもとの接し方を学び、家族間同士で意見交換をしながら、参加者が元気になってもらえるような内容を心掛けています。回を重ねるごとに、参加者の表情が変わり、元気を取り戻してきたように思います。